

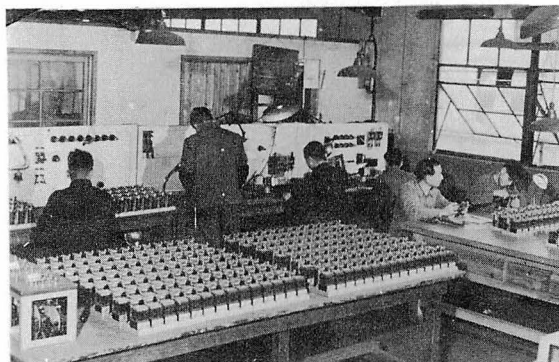
第2表 規模別会社数

資本金	200万円以下	200万円以上500万円以下	500万円以上1,000万円以下	1,000万円以上5,000万円以下	5,000万円以上1億円以下	1億円以上10億円以下	計
会社数	15	13		11	2	7	50

第3表 従業員別工場数

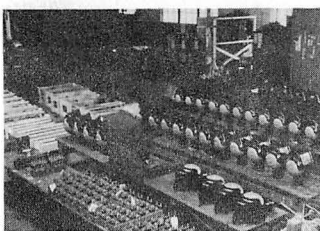
従業員数	10人以下	10人以上50人以下	50人以上100人以下	100人以上200人以下	200人以上500人以下	500人以上1,000人以下	計
工場数	3	21	12	9	1	5	53

注 兼業の従業員を含んでいる。



2. 差込継電器の調整職場

鉄5箇年計画の初年度による発注増があったためである。昭和24年から輸出をみるようになったが、おもに台湾およびタイ国等で逐年向上を示し、昭和31年度は、約1億5千万円程度輸出をみている。(坂本祐一)



3. 小型変圧器および踏切警報伝令試験場

しんごうほあんそうち

ほしゅきてい 信号保安装置保守規程 鉄道の信号保安装置は、技術的に電気信号と機械信号とに分類され、国鉄内での所管局もわかれていて、その保安規程は電気関係に電気信号保安装置保守規程(昭和22・6 達第614号) 機械関係に信号保安設備保守規程(昭和18・6 達第756号)と二本立になっていたが、執務機構改革により信号保安装置所管の一元化をはかられ、すべて電気局所管となったので、この規程の一元化をはかり、新しい技術を取り入れて昭和30・8 総裁達第415号で制定したものである。この規程は信号保安装置の整備規準、検査の方法と回数、障害処理および装置の使用停止等、保守する上に必要なことがらを定めているが、検査の回数を列車回数によりきめる等、保守作業の合理化をはかっている。(岩沢 弘)

しんごうめがね 信号めがね (英) signal spectacles 表めがねと裏めがねがあり、それぞれ信号柱上部の前面と背面に取付けられている。

表めがねは腕木信号機における夜間の信号現示をするもので、軸の右側に赤色ガラスと緑色ガラス(または橙黄色ガラス)がある。アップライドロッド切断の場合を考えて信号現示を停止現示にするため、表めがねの重量は左側に取付く腕木の重量より大きくしてあり、自動的に定位に復するようになっている。表めがねの両色ガラス中心線の腕木軸に対する角度は、普通列車

乗務員が座席から信号灯を見上げる姿にあるので、両色ガラスを同時に見てしまう2色現示の形とならないよう41度にしてある。

裏めがねは夜間に信号機の後方から現示の状態を確認めるもので、停止信号(または注意信号)を現示しているときは、大きな白色光、進行信号を現示しているときは、小さな白色光を現わすようになっている。また線路が曲線の場合は方向が違うから曲線用背面光装置を用いる。(田口正平)

しんごうようけいでんき 信号用継電器 (英) signal relay

電気信号保安装置においてもっとも重要なものは信号用継電器であって、その種類はきわめて多いが現在もっともよく使用されているものを交流と直流とに分け、動作・構造・型式・使用目的等を述べる。

1 交流継電器 (A. C. relay)

交流電源で動作する継電器類をいう。動作原理から分類するとつぎの通りである。

- 翼板型継電器 (円板型継電器 扇形型継電器)
- 電動機型継電器
- 検流計型継電器
- 周波数型継電器

(1) 翼板型継電器 (vane type relay)

わが国で使用される交流継電器はほとんどこの型式のものであって、翼板の形状によって、円板型継電器(disc-shaped vane type relay・写真-1)と扇形型継電器(sector-shaped vane type relay・写真-2)とがある。円板型は扇形型にくらべて円板ならびに制動装置の損傷が少ないが、制動装置の調整いかによっては動作中円板の空転を起すおそれがある。動作構造については

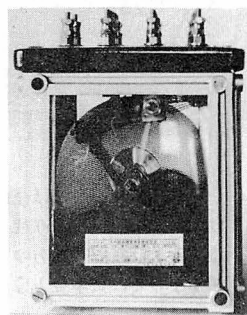


写真-1. 円板型継電器

(7) 交流2元2位軌道継電器 (II) 交流線条継電器のところで述べる。

(2) 電動機型継電器 (motor type relay・写真-3)

原動部は2相交流誘導電動機であって(図-1)、構造は固定子・回転子・内部鉄心からなっていて、固定子と内部鉄心とは空隙を経て磁気回路

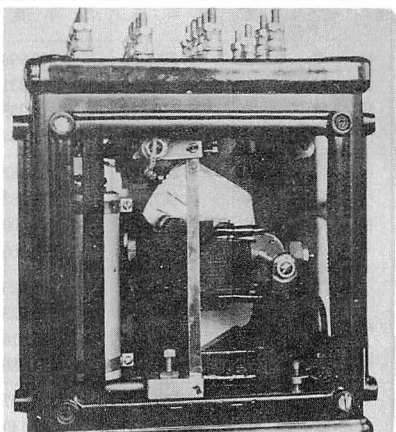


写真-2. 扇形型継電器

を構成し、空隙には回転子が回転するようになっている。固定子には交互に局部線輪と制御線輪が巻かれてあって、軌道回路を調整して両線輪の電流間の位相差により回転磁界を生じ、これによりA1製円筒の回転子に渦流を誘起して回転力を与えるのである。1元型ではこの両線輪を並列にして、各線輪に抵抗またはリアクトルを直列に接続して、継電器自体で両線輪の電